

## 蒲田のまちづくりに関する報告

### 1 「第18回蒲田都市づくり推進会議」

- (1) 開催日時  
令和4年6月30日（木）午後2時から午後4時まで
- (2) 場所・傍聴定員  
蒲田地域庁舎5階大会議室 傍聴20名 ※事前申込制
- (3) 議題  
蒲田駅周辺地区グランドデザインの報告……………別紙1  
蒲田駅東口地下自転車駐車場の都市計画変更（案）等の報告……………別紙2  
蒲田駅周辺地区基盤整備方針（素案）の報告……………別紙3

### 2 「蒲田駅東口地下自転車駐車場都市計画変更（案）の公告・縦覧」

- (1) 閲覧・募集期間  
令和4年6月20日（月）～7月4日（月）
- (2) 閲覧場所  
鉄道・都市づくり課（大田区役所 本庁舎7階）
- (3) 意見提出方法  
郵送、ファクシミリ、鉄道・都市づくり課へ持ち込み
- (4) 区民周知方法  
区報6月11日号及び区ホームページへの掲載

### 3 「蒲田駅周辺地区基盤整備方針（素案）」

- (1) パブリックコメント
  - ① 閲覧・募集期間  
令和4年6月27日（月）～7月11日（月）
  - ② 閲覧場所  
鉄道・都市づくり課、区政情報コーナー、各特別出張所、各図書館等
  - ③ 意見提出方法  
郵送、ファクシミリ、電子申請、鉄道・都市づくり課へ持ち込み
  - ④ 区民周知方法  
区報6月21日号及び区ホームページへの掲載  
YouTube 説明動画配信
- (2) 区民説明会
  - ① 開催日時  
1回目令和4年7月1日（金） 午後6時半から午後8時まで  
2回目令和4年7月2日（土） 午前10時から午前11時半まで
  - ② 場所・定員  
消費者生活センター2階 大集会室 各回50名 ※事前申込制

# 蒲田駅周辺地区グランドデザイン(令和4年4月改定) <概要>

本グランドデザインは、区全域の都市計画の基本的な方針を示す「大田区都市計画マスタープラン」における地域別方針を具体化する計画として、まちの将来像を描くと共に、地域住民・事業者・行政が一体となってまちづくりを進めていくための目標や方策を示したものです。平成22(2010)年策定から10年以上が経過するなか、社会やまちの状況の変化に対応し、蒲田が将来に渡って持続的に発展していくため、改定しました。

## 1章 地区の位置づけ・役割・まちの変化

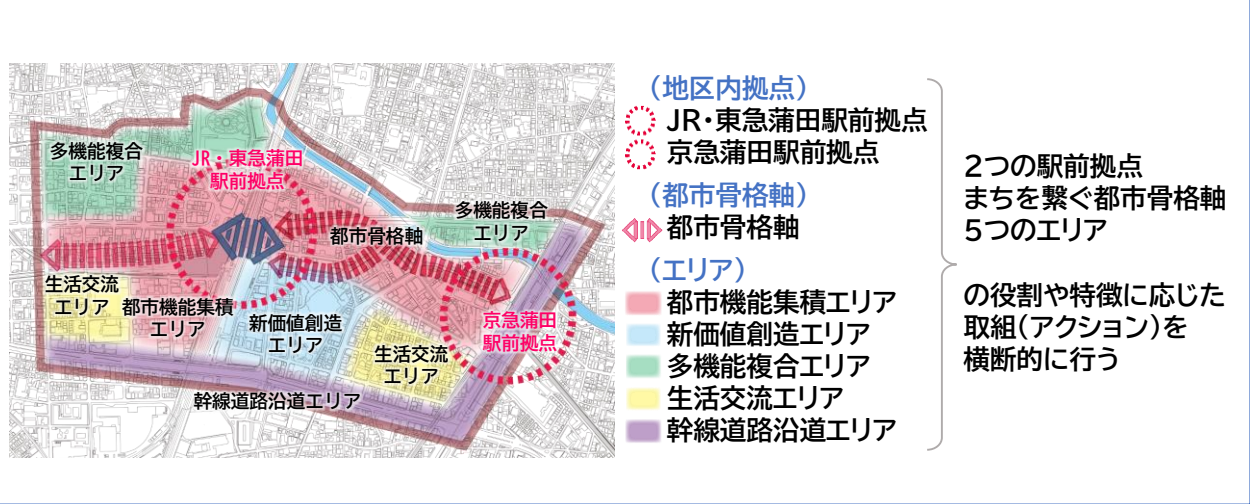
- (上位・関連計画における位置付け)
  - ・新都市生活創造域、枢要な地域の拠点 (東京都都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針)
  - ・広域拠点域、中心拠点 (大田区都市計画マスタープラン)
- (広域的な視点からみた地区の役割)
  - ・広域的な拠点性を高める機能
  - ・鉄道沿線の日常的な生活を支える機能
 の強化・充実が求められている
- (蒲田を取り巻く状況の変化)
  - ・小売店舗や事業所、工場の減少 ・夜間人口、集合住宅の増加
  - ・駅乗降客数や羽田空港の旅客数、外国人の増加 など

## 2章 まちの特徴と課題

## 3章 まちの将来像



## 4章 拠点・軸・エリアのまちづくり (※詳細は裏面)



## 5章 まちづくりの目標と分野別方針

**目標1. 文化・交流・にぎわいを生み出す「活動」の創出**

**目標2. 地域の価値を高める「空間」の充実**

**目標3. 安心して快適に過ごせる「環境」の向上**

- 【商業】 いきいき元気の商業のまち
- 【産業・ビジネス】 産業やビジネスが育つまち
- 【暮らし】 多様な人々が快適に暮らせるまち
- 【観光】 国内外と繋がり、何度も訪れたいまち
- 【駅・駅前広場】 ゆとりを感じる利便性の高い駅と駅前広場
- 【歩行者空間】 歩いてめぐり楽しめるまち
- 【交通】 様々な手段で快適に移動できるまち
- 【建物】 建物の更新や活用が進むまち
- 【防災】 災害に強いまち
- 【ユニバーサルデザイン】 誰もが使いやすい人にやさしいまち
- 【美化・景観】 個性と魅力のあるまち
- 【自然・環境】 自然を感じ、環境にやさしいまち
- 【防犯】 安全・安心なまち

## 6章 まちづくりの取組(アクション)

- |    |  |     |   |
|----|--|-----|---|
| 1- | ① 多様なニーズに応える商業の集積と担い手支援<br>② 商業やまちの魅力を広げるイベント等の拡充  | 7-  | ① 地域住民の移動を支え利便性の高い自転車駐車場の整備<br>② 自転車や歩行者等が安全に移動できる自転車走行環境の整備<br>③ 自由な移動を支える先端技術と交通モードの活用                              |
| 2- | ① 立地特性を活かした業務機能の誘導<br>② 経済活動の活性化を図る産業支援の促進<br>③ ビジネスパーソンが快適に働くことができる環境の充実  | 8-  | ① 沿道のにぎわいが連続する複合市街地の形成<br>② 老朽建築物の建替えと公共施設や街区の再編によるまちの更新<br>③ 人々が留まり、にぎわいを生むオープンスペースの整備                               |
| 3- | ① 多様な人々の暮らしを支える施設・サービスの誘導<br>② 地区への愛着を育む学びと交流機能の誘導<br>③ 豊かな心と文化を育む文化活動の充実<br>④ 人々の支えあいを育む交流機会の充実と参加促進  | 9-  | ① 災害時にも都市活動の継続が可能な強靱性の高い拠点の形成<br>② 首都直下地震等への対策の推進<br>③ 台風・豪雨による都市型水害対策の推進<br>④ 帰宅困難者等を受け入れる施設や体制の確保<br>⑤ 地域住民の防災意識の向上 |
| 4- | ① 来街者を惹きつけるプロモーションの充実<br>② 来街者を迎え入れる体制の充実<br>③ 来街者の快適な滞在を支える施設の充実  | 10- | ① 誰にとっても分かりやすいサインの整備<br>② 誰もがスムーズに移動できるバリアフリー化の推進<br>③ 人々の多様性を認め受け入れるダイバーシティの推進<br>④ 先端技術を駆使した環境の整備                   |
| 5- | ① 区内の円滑な移動と広域的な利便を生む新空港線整備の推進<br>② 駅東西の分断を解消し、鉄道の乗換えを円滑にするJR・東急蒲田駅東西自由通路の整備<br>③ まちの円滑な移動を支えるJR・東急蒲田駅北側通路の整備<br>④ まちの顔となる駅・駅ビルの一体的な機能更新<br>⑤ 駅と駅を繋ぐ快適な乗換え空間の形成<br>⑥ 多様な移動手段や駅とまちを繋ぐ駅前広場の機能向上 | 11- | ① みんなで綺麗なまちをつくる美化活動<br>② 蒲田らしい特性や魅力を活かした景観の育成   |
| 6- | ① 歩行者の円滑な移動と多様な活動を支えるストリートの創出<br>② 緑と潤いのある呑川沿いの散策路整備<br>③ 歩行者の安全とまちのにぎわいを創出する駐車場の適正化   | 12- | ① 地域とつくる緑あふれる都市環境の創出<br>② 緑とにぎわいを感じる公園等の充実<br>③ まち全体で取り組む環境負荷の低減<br>④ 暑い日もまちなかで快適に過ごせるための暑さ対策<br>⑤ 潤いを創出する呑川の水質改善     |
|    |  | 13- | ① 地域の方でつくる安全な環境の確保<br>② 自転車マナーアップと放置自転車対策の推進  |

## 7章 JR・東急蒲田駅前拠点の施設整備

基盤施設が抱える課題 ・ 課題解決の方向性

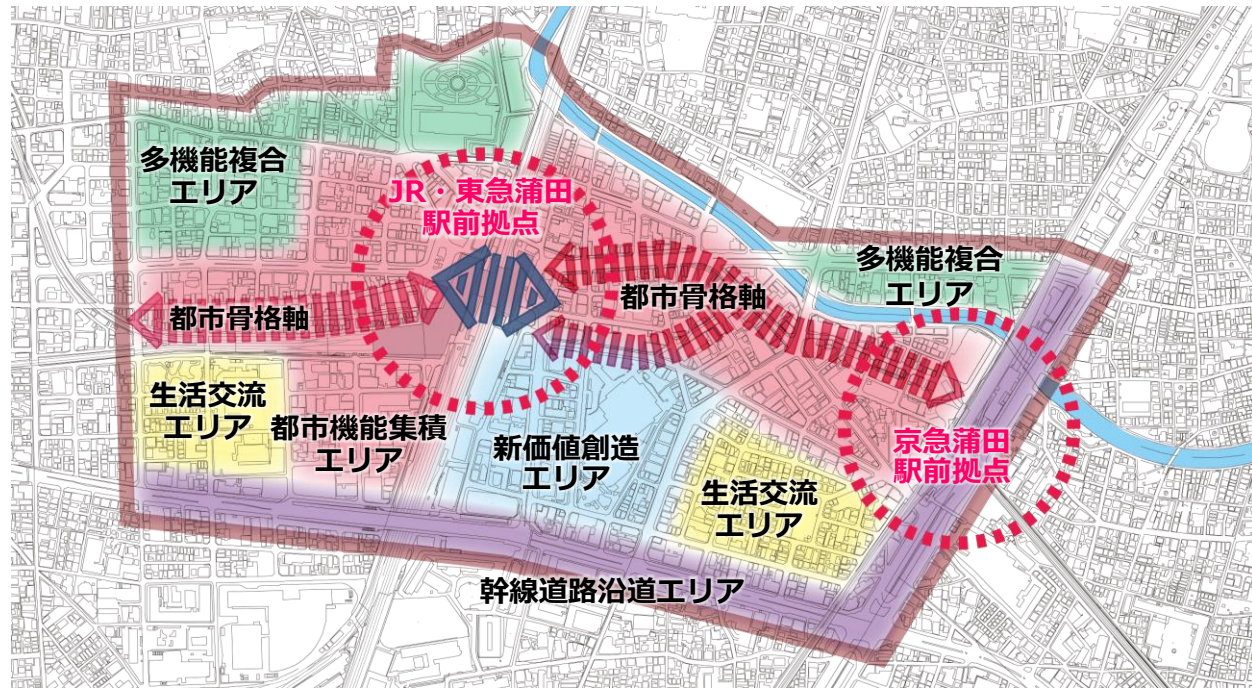
## 8章 グランドデザインの実現に向けて

協働によるまちづくりの推進 ・ グランドデザインの運用の考え方



第4章 拠点・軸・エリアのまちづくり

各拠点・軸・エリアが担う役割や特徴を踏まえ、各場所で特に重点的に取り組む方策を示します。



地区内拠点



JR・東急蒲田駅前拠点

国内外やまちを繋ぎ、利便性が高くまちの顔となる  
交通結節機能の強化

- (1) 駅の東西、駅とまちを円滑に繋ぐ歩行者空間の創出
- (2) 公共交通の乗換えを支え、にぎわい溢れる駅前空間の創出
- (3) 交通結節点にふさわしい都市機能の強化



京急蒲田駅前拠点

人々をまちに呼び込む、玄関口にふさわしい  
来街者を魅了する駅前拠点の形成

- (1) 国内外からの来街者を迎え入れる玄関口の形成
- (2) 調和の取れたまちなみと安全で快適な歩行者空間の形成

都市骨格軸



都市骨格軸

商業などが連続し、にぎわいの広がりをつくる  
歩いて楽しいストリートの形成

- (1) 沿道のにぎわいが連続するまちなみの形成
- (2) 道路と沿道が一体となったにぎわい溢れるストリートの創出
- (3) 安心して快適に拠点やまちを繋ぐ歩行者環境の形成

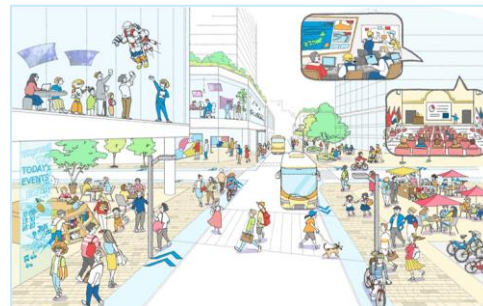
エリア



都市機能集積エリア

様々な都市機能が集積し、人々を惹きつけ・留める  
にぎわいの創出

- (1) 商業・業務を中心に多様な機能が集積する複合市街地の形成
- (2) 多様な活動が展開され、にぎわい溢れる空間の創出
- (3) 安全で環境にやさしい市街地の形成



新価値創造エリア

ビジネス・文化などが集約し、人々の活発な活動・交流による  
新たな価値の創造

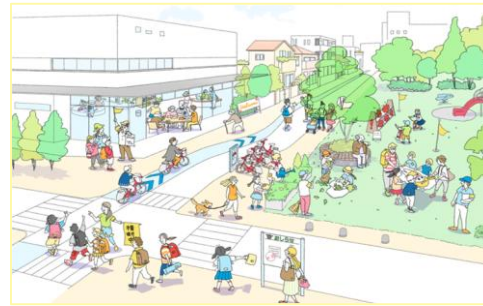
- (1) 人々や企業の交流を育み新たな価値を生み出す市街地の形成
- (2) 集い・学び・交流が生まれる空間の創出
- (3) 安全で環境にやさしい市街地の形成



多機能複合エリア

周辺住宅地と本地区を繋ぎ、水と緑を感じる  
地域に根差した活力の創出

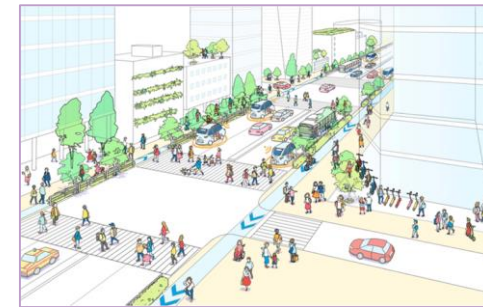
- (1) 多様なライフスタイルに対応する市街地の形成
- (2) 水と緑が感じられる生活環境の形成



生活交流エリア

学びや交流の場となる学校や公園などを中心として  
地域への愛着や親しみの育成

- (1) 人々が交流し、繋がりを育む生活環境の形成
- (2) 安全で安心して暮らせるまちづくりの推進



幹線道路沿道エリア

広域的な移動を支え、街路樹や災害に強い建物が立ち並び  
安全で快適な沿道環境の整備

- (1) 安全で安心な幹線道路沿道の整備促進
- (2) 快適で円滑な移動を支える沿道環境の創出



# 蒲田駅東口地下自転車駐車場の都市計画変更案について

### ■ 概要

- (1) 名称 大田第9号蒲田駅東口地下自転車駐車場
- (2) 位置 大田区蒲田五丁目地内
- (3) 構造・階層 地下・2層（出入口6箇所）
- (4) 駐車台数 約2,800台

### ■ 今後の予定

- ・都市計画案の公告・縦覧
- ・都市計画審議会、決定告示

### ■ 都市計画変更区域

### ■ 変更内容

面積は以下の理由により、約0.32ha(約3,200㎡)から約0.33ha(約3,300㎡)に変更

変更箇所	変更理由等
本体部分	現地のインフラ埋設物の状況を考慮し、事業を効率的に進めるため、平面形状を一部変更
南出入口1	自動車からの視認性確保のほか、周辺の歩行者や自転車の安全性・快適性を一層高めること等により、出入口部の形状を一部変更
南出入口2	
東出入口	本体部分と出入口の構造を分けることで、地震等に対する強度を高めることができるため、出入口部の形状を一部変更
北出入口	



【問合先】  
 大田区鉄道・都市づくり課 (電話) 03-5744-1339



## 蒲田駅東口駅前広場 地下自転車駐車場に向けた先行工事 及び 交通島暫定広場工事

### ■ 概要

- 大田区では、現在の蒲田駅東口駅前広場を南側に拡張し、歩行者環境の改善を重視した駅前広場整備や新たに地下自転車駐車場を設置する「蒲田駅周辺再編プロジェクト初動期整備」を進めています。
- 地下自転車駐車場の本体工事着手に向け、令和4年度は、「地下自転車駐車場工事の先行撤去等工事」や「交通島暫定広場工事」を予定しております。
- 工事期間中は、地域の皆様や通行される皆様にご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願い致します。

### ■ 地下自転車駐車場工事の先行撤去等工事

#### ① 構造物撤去工事(広場構造物)

- 交通島内にあるオブジェ類の撤去、移設を行います。
- 工事予定期間：令和4年4月頃～10月頃 (域外工事を含む)

上昇気流  
(撤去)



希望  
(京急蒲田駅西口に移設)



躍進工業蒲田  
(京急蒲田駅東口に移設)



#### ② 構造物撤去工事(地下構造物)

- 地下自転車駐車場工事の先行工事として、蒲田駅東口14番街区内の地下構造物撤去等を行います。
- 工事予定期間：令和4年6月頃～令和5年2月頃



#### ③ 暫定広場整備工事

- 交通島内のオブジェ撤去移設跡地を活用して、地下自転車駐車場本体工事が本格化するまで、暫定広場として整備し期間限定で開放する予定です。
- 整備する暫定広場は、地域の方々や駅を利用される皆様にルールの中ですべて自由に使用いただき、今後整備する予定の蒲田駅東口初動期整備などに活かしていく予定です。
- 工事予定期間：令和4年11月頃～令和5年3月頃



【問合せ先】  
大田区建設工事課 (電話) 03-6436-8728



# 蒲田駅周辺地区基盤整備方針（素案） <概要>

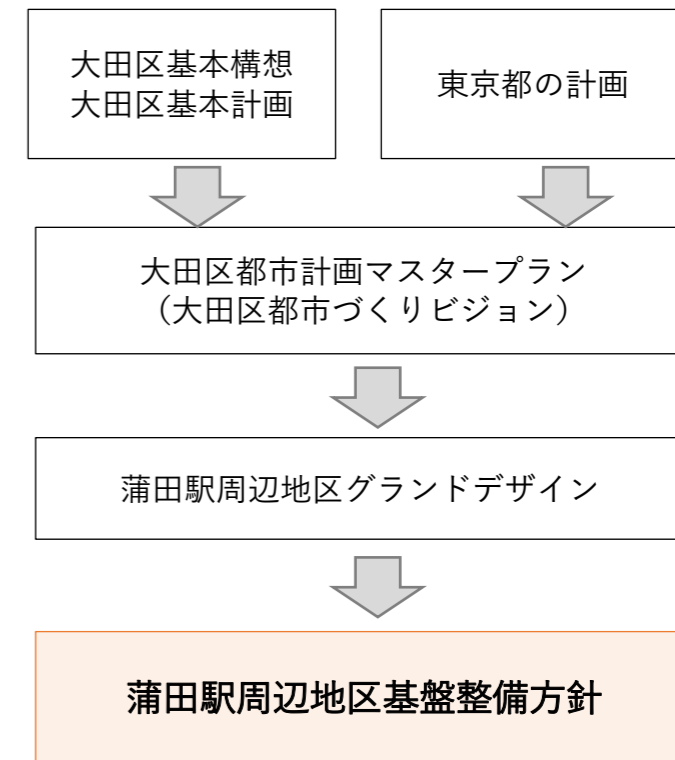
## 対象とする範囲



## 基盤整備方針の位置づけ・役割

蒲田駅周辺地区基盤整備方針は、蒲田駅を中心とする地区における公共施設の再編や、駅舎・駅ビル、駅周辺の再開発などを一体的に行うための基盤整備の方針を示すものです。

基盤整備方針策定後は、具体的な施設整備の内容や、その実現化に向けた手順・方策などを検討し、基盤施設整備事業を推進していきます。



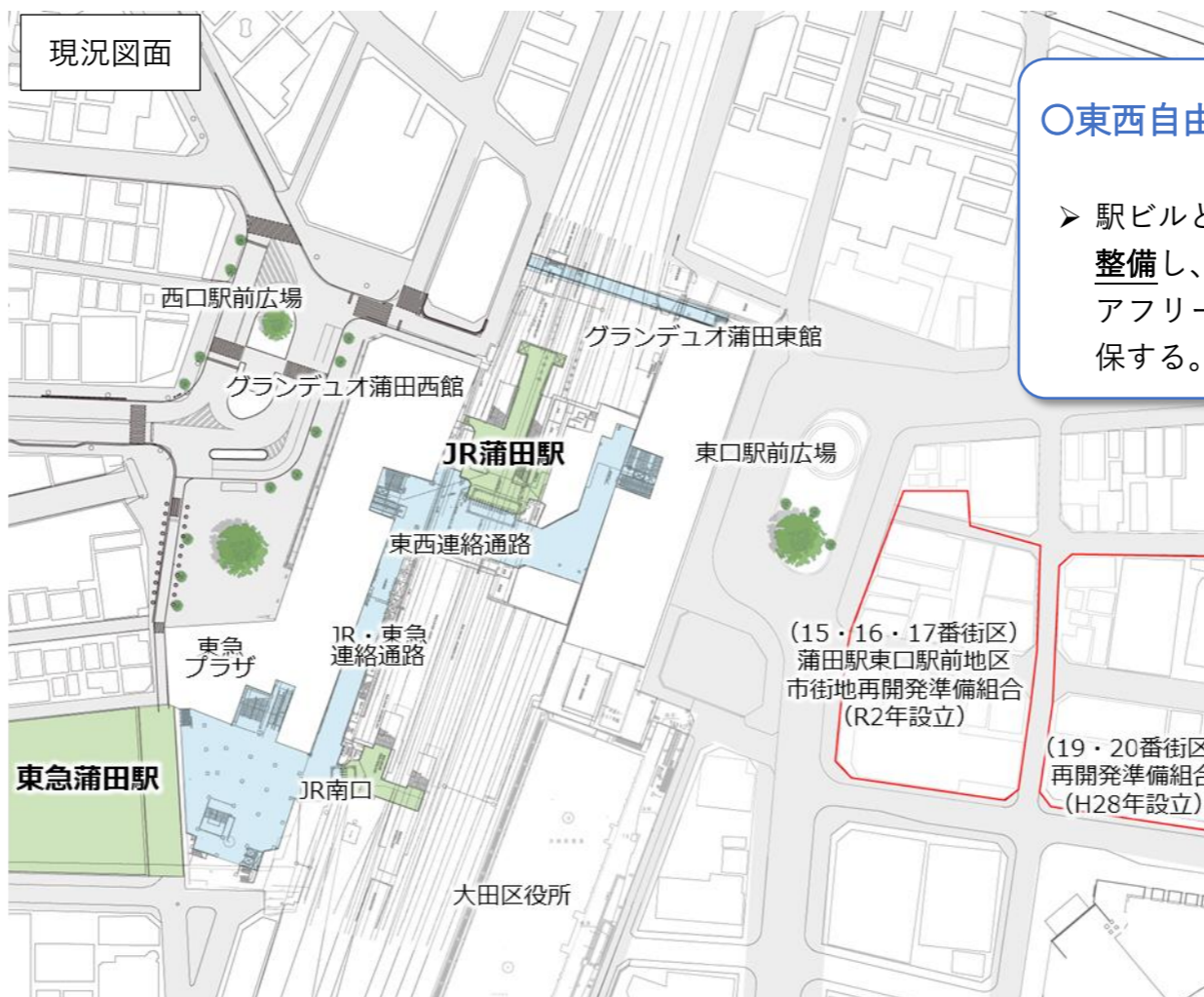
## 基盤施設の整備の方向性

### ○東西駅前広場

- 東口初動期整備との整合性を図りながら 東口駅前広場を拡張・再整備し、さらなる交通利便性の向上と、駅とまちの一体性を高める駅前空間を創出する。
- 隣接事業者と連携した 西口駅前広場及び南口周辺の歩行者空間を確保し、ゆとりある駅前空間を創出する。

### ○駅舎・駅ビル

- 周辺基盤施設整備と連携した 駅ビルの建て替え等により、駅前空間を充実させる。



### ○東西自由通路・連絡通路

- 駅ビルと連携した 東西自由通路、北側連絡通路を整備し、東西のまちをシームレスにつなぐバリアフリーな歩行者動線や円滑な乗換え動線を確保する。

### ○駅周辺街路

- 駅周辺のバス乗降場の駅前広場への集約などによる 道路空間を再編し、まちなかの回遊性向上と快適な移動環境を創出する。



## 整備に向けた3つの視点と整備イメージ

### 3つの視点

#### つながる

##### 東西のまちの連携強化

【東西自由通路・連絡通路】

まち全体としての一体性を持った東西地域の円滑な移動やわかりやすい乗換え動線により、誰もが安全で快適な移動ができる空間を形成します。

#### あつまる

##### 駅前空間の交通結節機能の強化

【東西駅前広場】

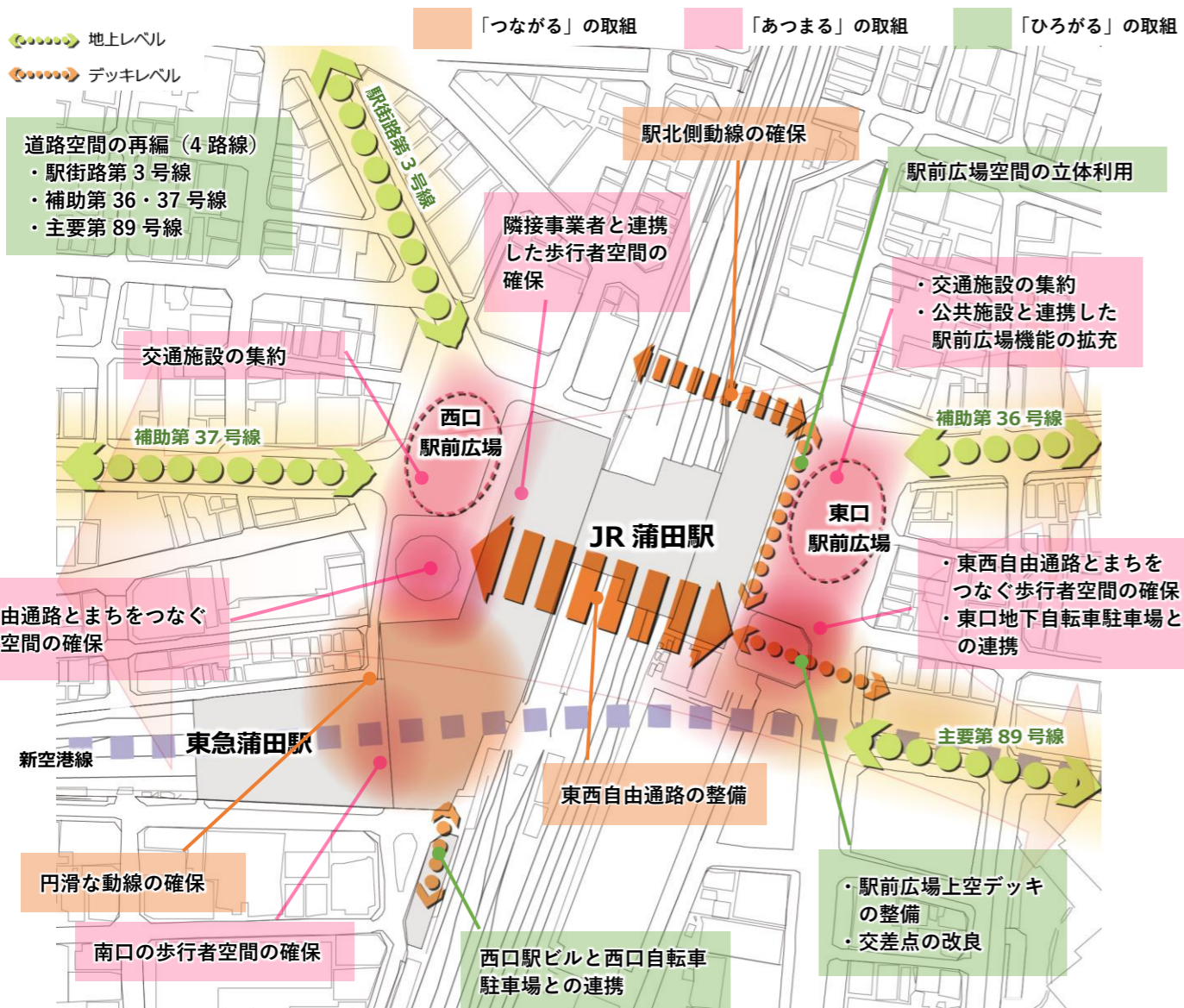
駅にあつまる人々の通行や滞留など多様な移動手段を支え、まちなかへの円滑な移動を促し、多彩な活動が生み出される空間を形成します。

#### ひろがる

##### 駅周辺のネットワークの形成

【駅周辺街路・街区】

まちなかへの回遊を支え、快適で活動が創出される駅前のにぎわいをまちへ波及・拡大する空間を形成します。



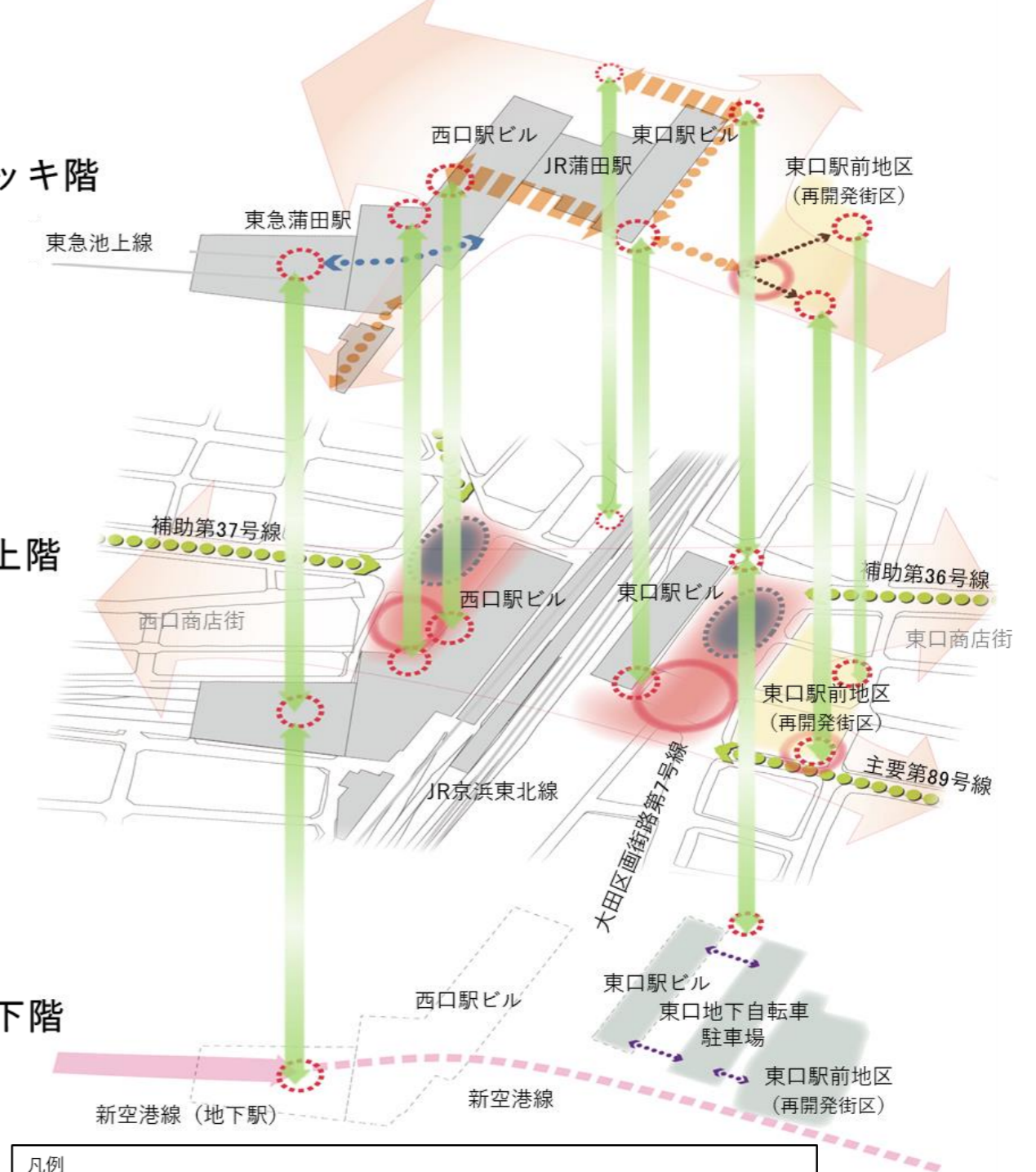
## 歩行者動線のイメージ

東西のまちをつなぎ、駅や駅前にあつまる人々や活動をまちへ広げる歩行者ネットワークは、鉄道間の乗換え利用者や、駅からまち、まちから駅へ流れる人々が快適に移動できる歩行環境とし、わかりやすく安全で快適な移動を実現するためには、駅ビルなどの機能更新とあわせて、建物内にも歩行者のための動線や滞留空間などを確保することが重要です。

### デッキ階

### 地上階

### 地下階



凡例					
	東西自由通路・連絡通路		縦動線		主な歩行者ネットワーク
	ペDESTリアンデッキ等		歩行者の滞留空間		地下駐輪場の連携
	鉄道の乗換え動線		交通結節機能 (バス・タクシー乗降等)		都市骨格軸
	街区内の歩行者動線		駅施設		

※今後の各施設整備の検討状況などにより変更の可能性があります。また、各施設の位置や規模などは現時点でのイメージです。